



俳句

十七音に思いをこめてみよう



この教材の使い方

1

見て・ふれて・感じる

写真や実物、動画でも確かめてみましょう。身近な行事や食べ物の中にも、日本文化はたくさんあります。

2

「なぜ？」を考える

行事やしきたりには、それぞれ意味や願いがこめられています。由来を知ると、ぐっと面白くなります。

3

「やってみよう」で体験する

答えは30ページにあります。家族や地域の人に話を聞くのもおすすめです。地域によるちがいも楽しみましょう。



Ken (ケン)

日本の中学生。地元のお祭りが大好き。



Emma (エマ)

カナダから来た留学生。日本文化を勉強中。

もくじ

俳句の入り口	3～4
俳句の決まりごと	5
有名な俳人	6～7
俳句を味わう	8～10
俳句をつくる	11～12
俳句を広げる	13～15
確かめよう	16～19
くらべる・疑問	20～22
おさらい	23～25
つたえる	26～28
まとめ	29～30

俳句ってなに？

俳句ということばの意味を考えてみましょう。

俳句とは、五・七・五の十七音という、とても短い形で表す日本の詩のことです。
短い言葉の中に、季節の情景や、そのときの気持ちをこめて表現します。



俳句の特徴

五・七・五の十七音

季語を入れる

切れ字を使う

情景をえがく

決まりごとはありますが、まずは気軽に言葉を並べてみることから始まります。

ポイント

- 俳句は、世界でもっとも短い詩の1つといわれています。
- むずかしく考えず、感じたことを言葉にしてみることが第一歩です。

やってみよう

1. 「俳句」と聞いて思いうかぶことを1つ書いてみよう。

2. 知っている俳句があれば、1つ書いてみよう。 _____

ワンポイント 俳句は声に出して読むと、リズムのこちよさがより感じられます。

書いて覚えよう

五・七・五

俳句の基本の形、五・七・五を知りましょう。

五音 + **七音** + **五音** = **十七音**

音（おん）

おん

俳句を数えるときの、音の単位。1文字が1音になることが多い

字余り

じあまり

五・七・五より音が多くなること

ポイント

- 五・七・五の十七音というリズムが、俳句の基本の形です。
- 「ん」や小さい「っ」も、1音として数えます。
- 音が少し多くなる字余りも、味わいとして使われることがあります。

やってみよう

1. 「ふるいけや」を声に出して、いくつかの音が数えてみよう。 _____
2. 五音になる言葉を1つ探してみよう。 _____

書いて覚えよう

俳句に欠かせない、季語と切れ字を知りましょう。

「桜」は春、「蟬（せみ）」は夏を表す季語

「や」「かな」「けり」などがよく使われる

- 季語は、季節の感をひとことで伝える大切な役割を持っています。
- 切れ字を使うと、感動や余韻が伝わりやすくなります。

1. 今の季節を表す季語を1つ考えてみよう。

江戸時代の俳人。各地を旅しながら多くの俳句を残したといわれています

静けさの中に生まれる、小さな水の音をよんだ句として知られています

江戸時代の俳人・画家。絵のように情景をえがく句を数多く残しました

ポイント

- 松尾芭蕉は、俳句を芸術として高めた人物として知られています。
- 与謝蕪村は、画家でもあったことから、色や光を感じさせる句が多いといわれています。

やってみよう

1. 2人の俳人のうち、気になるほうを1つ選んでみよう。

書いて覚えよう

もう2人の代表的な俳人を知りましょう。

有名な俳句

よく知られている俳句を読みましょう。

俳句	季語・季節
古池や蛙飛びこむ水の音	蛙（かわず）・春
柿くへば鐘が鳴るなり法隆寺	柿・秋
瘦蛙まけるな一茶これに有	蛙（かわず）・春

ポイント

- 有名な俳句を声に出して読むと、情景が目にかびやすくなります。
- 作者によって、俳句の視点や雰囲気には少しずつちがひがあります。

やってみよう

- この中でいちばん好きな俳句を1つ選び、理由も書こう。

書いて覚えよう

俳句の読み方

俳句を、より深く読む方法を知りましょう。

- | | | |
|---|-----------|-------------|
| ① | 季語をさがす | いつの季節の句かを知る |
| ② | 五・七・五に区切る | リズムを感じる |
| ③ | 切れ字に注目する | 感動の中心をつかむ |
| ④ | 情景を思いうかべる | 見える景色を想像する |

ポイント

- 1つずつ順番に見ていくと、俳句の意味がつかみやすくなります。
- 何度も声に出して読むと、新しい発見があります。

やってみよう

1. 好きな俳句を1つえらび、①～④の順で読み解いてみよう。

書いて覚えよう

情景を想像する

俳句から、景色や音を思いうかべてみましょう。



Ken

「古池や蛙飛びこむ水の音」って、静かな池の様子がかぶね。



Emma

音が聞こえてきそうだね。短い言葉なのに、景色が見えるのがふしぎ。

ポイント

- 俳句は、すべてを説明しない分、読む人の想像が広がります。
- 目で見える景色だけでなく、音やにおいを思い浮かべることもできます。

やってみよう

1. 好きな俳句を読んで、目にうかぶ景色を絵か言葉で表してみよう。

書いて覚えよう

言葉をけずる・俳句のテーマ

短くまとめる工夫と、俳句のテーマの選び方を知しましょう。

言葉をけずるコツ

同じ意味の言葉を1つに

「とても」などを外す

動きより景色を選ぶ

余計な説明をはぶく

短くするほど、伝えたいことがはっきりします。

ポイント

- 十七音に収めるためには、いちばん伝えたいことを1つにしぼることが大切です。
- 身近な出来事や、ふと感じたことも、りっぱな俳句のテーマになります。

やってみよう

1. 今日感じたことを、まず自由な長さの文で書いてみよう。

書いて覚えよう

- 俳句は、声に出して読むことで、リズムや余韻が伝わりやすくなります。
- 感想を聞くと、自分では気づかなかった俳句のよさに気づくことがあります。

やってみよう

1. 作った俳句を、家族か友だちの前で声に出して読んでみよう。
2. 聞いた人の感想を書こう。

ワンポイント 発表するときは、少しゆっくりめに読むと、聞く人に情景が伝わりやすくなります。

書いて覚えよう

世界のHAIKU・俳句をつくろう

世界に広がる俳句と、自分の俳句づくりに挑戦しましょう。

俳句は「**HAIKU**」として世界にも知られ、外国語でも作られています。季節を表す季語がない場合もあります。

短い言葉に思いをこめるという考え方は、言葉や国がちがっても伝わるといわれています。



ポイント

- 世界のHAIKUは、日本の俳句とルールが少しちがうことがあります。
- 俳句づくりに、正解は1つではありません。まずは作ってみることが大切です。

やってみよう

1. 五・七・五で、あなたの俳句を1つ作ってみよう。

書いて覚えよう

写真や実物を見てみよう

見て、ふれて、俳句をもっと身近に感じましょう。

見てみよう

俳句集・歌集

俳人の記念館の展示

季語をまとめた歳時記

俳句が書かれた掛け軸や短冊

実物を見ると、文字だけではわからない筆づかいや味わいに気づけます。

ポイント

- 歳時記は、季語とその意味、例句がまとめられた本です。
- 家にある古い俳句集も、立派な資料です。

やってみよう

1. 家や学校にある、俳句に関するものを1つさがしてみよう。
2. 印象に残った俳句を1つ書こう。

ワンポイント 図書館には、歳時記や有名な俳句をまとめた本がたくさんあります。さがしてみましょう。

書いて覚えよう

体験してみよう

実際に作ってみると、俳句はもっと楽しくなります。

やってみよう

俳句づくり

句会ごっこ

季語さがし

俳句の書写

多くは、家や学校でも安全に体験できます。

ポイント

- 体験すると、本で読んだだけではわからない発見があります。
- うまく作れなくても大丈夫。まずは楽しむことが大切です。

やってみよう

1. この中から1つえらんで、実際にやってみよう。
2. やってみて気づいたことを書こう。

書いて覚えよう

地域によるちがい

俳句にも、地域や流派によるちがいがあります。

共通すること

多くの俳句に見られる特徴

五・七・五の十七音

俳句の基本の形

季語を入れる

季節を表すことば

ちがうこと

作る人や流派によるちがい

季語の選び方

地域によって季節の感じ方がちがう

季語のない俳句

無季俳句とよばれる作り方もある

ポイント

- 同じ季節でも、地域によって季語に選ばれる生き物や植物がちがうことがあります。
- 「俳句は必ずこう作る」と決めつけず、さまざまな作り方があることを知っておきましょう。

やってみよう

1. あなたの地域ならではの季節の言葉を1つ書いてみよう。

書いて覚えよう

昔と今をくらべよう

俳句との付き合い方は、時代とともに変わってきました。

普

以前の楽しみ方

紙と筆で書く

短冊や掛け軸に書き残した

句会で発表する

人が集まって読み合った

今

今の楽しみ方

ノートやパソコンで書く

手軽に書きとめられる

インターネットで発表する

遠くの人とも作品を共有できる

ポイント

- 書く道具や発表の方法は変わっても、季節や気持ちを言葉にする楽しさは変わっていません。

やってみよう

1. 家族に、俳句を作ったり読んだりした経験があるか聞いてみよう。

書いて覚えよう

よくある疑問

俳句について、よくある疑問を確認しましょう。

よくある疑問

Q. 季語を入れないと俳句ではないのですか？

A. 季語を入れるのが基本の形ですが、季語のない無季俳句という作り方もあります。

Q. 五・七・五きっかりでないといけませんか？

A. 基本は五・七・五ですが、音が多くなる字余りなど、リズムを生かした作り方もあります。

ポイント

- わからないことは、そのままにせず、歳時記などで確かめてみましょう。

やってみよう

1. 俳句について疑問に思うことを1つ書こう。

書いて覚えよう

マナーと注意点

俳句を読んだり作ったりするとき、気をつけたいことがあります。

ポイント

- 人の俳句を読むときは、作者の思いを想像しながら大切に読みましょう。
- 句会などでほかの人の句を評価するときは、よいところも伝えるようにしましょう。
- 有名な俳句を写すときは、作者の名前も一緒に書きましょう。

ワンポイント 自分の俳句を発表するときは、はずかしがらずに、まずは声に出してみましょう。

やってみよう

1. 俳句を読んだり作ったりするときに気をつけたいことを1つ書こう。

書いて覚えよう

用語をおさらい

この教材に出てきたことばを確認しよう。

俳句の決まりごと

☐ 季語

季節を表すことば

☐ 切れ字

調子を整えることば

☐ 字余り

五・七・五より音が多いこと

俳句にまつわる人・場

☐ 松尾芭蕉

旅をしながら俳句を残した俳人

☐ 正岡子規

俳句という呼び名を広めた俳人

☐ 句会

俳句を読み合う集まり

ワンポイント 覚えたことばに✓をつけよう。ことばを知ると、俳句がもっと身近に感じられます。

書いて覚えよう

書いて覚えよう

家族や友だちに話してみよう

学んだ俳句を、自分のことばで伝えてみよう。

紹介したい俳句

作者と季語

自分が感じたこと

相手に聞いてみたいこと

Emma の例

紹介したい俳句 古池や蛙飛びこむ水の音／作者と季語 松尾芭蕉・蛙（春）／自分が感じたこと 短いのに静かな景色が見えた／聞いてみたいこと 好きな季節はいつか

ポイント

- 聞いてもらう相手に合わせて、ことばを選んでみましょう。

書いて覚えよう

英語で紹介してみよう

俳句を、短い英語でも紹介できるようにしよう。

俳句

haiku

五・七・五の十七音で表す、日本の短い詩

季語

seasonal word

季節を表す、俳句に入れることば

Emma

俳句を英語で紹介するとき、どう説明する？



Ken

音の数より、季節や気持ちが伝わることを大切にしているよ。

ポイント

- 英語のHAIKUでは、音の数のルールが日本語とちがうことがあります。

やってみよう

- 紹介したい俳句を1つ選び、短い英語で説明してみよう。

書いて覚えよう

もっと知りたい人へ

俳句の世界は、ここからどんどん広がります。

調べる方法

図書館で

歳時記や俳句集を借りる

句会で

ほかの人の俳句にふれる

散歩で

季節の変化をさがす

次に学びたいテーマ

短歌

五・七・五・七・七のことばの世界

季語

季節のことばをもっとくわしく

有名な俳人

作品や生き方をもっと知る

ポイント

- この教材の次は「短歌」。俳句より少し長いことばで、思いを表す世界を学んでいきます。

書いて覚えよう

俳句チャレンジ

教室の外でも、俳句はすぐに作れます。

見つけよう

身のまわりから**季節を感じる**ことばを1つ見つける

作ろう

五・七・五で**自分の俳句**を1つ作る

伝えよう

作った俳句を**友だちや家族に発表**する

こたえ

L28 季語→ウ 切れ字→ア 句会→イ 字余り→オ 松尾芭蕉→エ 2. まちがい / 正しい

L33 (例) 俳句とは、五・七・五の十七音で季節や気持ちを表す、日本の短い詩のこと。

書いて覚えよう

俳句 (Season 9 | No.83)

発行：一般社団法人文化芸術支援協会

この教材の著作権は一般社団法人文化芸術支援協会に帰属します。個人の学習および家庭内での利用に限り、閲覧・保存・印刷ができます。

有料の講座・塾・研修での使用、販売・再配布、改変しての公開、生成AIへの入力などの商用利用は禁止しています。

くわしくは当協会ウェブサイトの「ウェブサイト利用規約」をご覧ください。